

研究教育業績（過去 5 年間）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) Yamamoto H., Yamaguchi H., Yamada T., Vinculin Migrates to the Cell Membrane of Melanocytes After UVB Irradiation, *BPB rep.*, **3**, 126-129 (2020).
- 2) Wakasa Y., Kimura N., Yamada T., Shimizu T., Hakamada K., Tsuchida S., Delay in hepatocyte proliferation and prostaglandin D2 synthase expression for cholestasis due to endotoxin during partial hepatectomy in rats, *Mol. Med. Rep.*, DOI: 10.3892/mmr.2019.10681, (2019).
- 3) Nanashima N., Horie K., Yamada T., Shimizu T., Tsuchida S., Hair keratin KRT81 is expressed in normal and breast cancer cells and contributes to their invasiveness, *Oncol. Rep.*, **37**, 2964-2970, (2017).
- 4) Nanashima N., Yamada T., Shimizu T., Tsuchida S., Involvement of clustered genes in mammalian functions: their relation in a rat mutant strain, *J. Mol. Evol.*, **84**, 159-161, (2017).

[総説]

- 1) 山田俊幸, 眼球の白濁, 水晶体の退縮, 網膜の剥離を示す遺伝性小眼球ラットにおける *Cryba1* 遺伝子の欠失, 日本白内障学会誌, **29**, 37-39, (2017).
- 2) Yamada T., Tsuchida S., The hirosaki small-eye rat: a novel recessive model animal of lens and retinal degeneration with loss of $\beta A3/A1$ -crystallin, *Precision Medicine*, **2**, e1140, Doi: 10.14800/pm, 1140, URL : <http://www.smartscitech.com/index.php/pm>, (2016).

2. 主な学会発表

[国際学会]

- 1) Wakasa Y., Kimura N., Yamada T., Shimizu T., Hakamada K., Tsuchida S., Endotoxin-induced cholestasis delays hepatocyte proliferation and prostaglandin D2 synthase after partial hepatectomy in rats, The Asian Pacific Association for the study of the liver, Manila, Philippines, February (2019).

[国内学会]

シンポジウム

- 1) 山田俊幸, 眼球の白濁, 水晶体の退縮, 網膜の剥離を示す遺伝性小眼球ラット(Hirosaki Small Eye Rat; HiSER) における *Cryba1* 遺伝子の欠失, 第 55 回日本白内障学会総会, 第 42 回水晶体研究会, 合同学会, シンポジウム, 盛岡, 7 月 (2016).

一般講演

- 1) 山本 博之、山口 陽子、山田 俊幸、紫外線曝露後のメラノサイトにおけるビンキュリンの膜移行とメラニン放出、日本薬学会第 141 年会、オンライン開催、3 月、(2021).
- 2) 齋藤 博、山田 俊幸、千葉 輝正、栗原 大河、福田 耀士、佐藤 卓美、オンライン型学生実習の実施に関する報告 —Microsoft Office365 を活用したオンライン型学生実習の実施—第 5 回日本薬学教育学会大会、オンライン開催、9 月、(2020).
- 3) 齊藤 直樹、鈴木 綾音、山本 博之、山田 俊幸、水晶体の白濁や退縮、網膜の肥厚や剥離を示す劣性遺伝性小眼球ラット眼におけるこれら病変の誘導機構の解析、第 93 回日本生化学会大会、オンライン開催、9 月 (2020).
- 4) 山本 博之、安藤 沙樹、小野原 葵、澤柳 明里、山田 俊幸、皮膚における光受容体と視サイクル関連酵素の発現、第 93 回日本生化学会大会、オンライン開催、9 月 (2020).
- 5) 山本 博之、安藤 沙樹、小野原 葵、澤柳 明里、山田 俊幸、皮膚に発現する光受容体の探索、日本薬学会第 140 年会、京都、3 月、紙面発表 (2020).
- 6) 齊藤 直樹、鈴木 綾音、土方 初音、山本 博之、山田 俊幸、水晶体の白濁や退縮、網膜の剥離を示す遺伝性小眼球ラット眼における病状進行とタンパク質の発現変化、日本薬学会第 140 年会、誌上発表 (2020).
- 7) 山田 俊幸、土方 初音、鈴木 綾音、齊藤 直樹、山本 博之、眼球の白濁、水晶体の退縮、網膜の剥離を示す遺伝性小眼球ラット眼におけるクリスタリンタンパク質の発現低下、第 92 回日本生化学会大会、横浜、9 月 (2019).
- 8) 齊藤 直樹、鈴木 綾音、土方 初音、山本 博之、山田 俊幸、ラットの遺伝性、進行性の異常眼におけるタンパク質の発現変化、第 63 回日本薬学会関東支部大会、東京、9 月 (2019).
- 9) 石合崇人、羽田弥輝、日高良香、土方初音、管原こゆき、山田俊幸、ヘルパーT細胞の分化過程における転写共役因子 Fog1 の発現誘導とその重要性、日本薬学会第 139 年会、幕張、3 月 (2019).
- 10) 山田俊幸、CD4 陽性 T 細胞の分化におけるレチノイン酸反応性の重要性とその獲得に対する胸腺樹状細胞の関与、第 91 回日本生化学会大会、京都、9 月 (2018).
- 11) 羽田弥輝、石合崇人、土方初音、日高良香、管原こゆき、山田俊幸、脾臓での免疫抑制は胸腺によって補償されている、第 62 回日本薬学会関東支部大会、東京、9 月 (2018).
- 12) 石合崇人、土方初音、日高良香、管原こゆき、羽田弥輝、山田俊幸、ヘルパーT細胞の分化過程における転写共役因子 Fog1 の発現誘導とその重要性、第 62 回日本薬学会関東支部大会、東京、9 月 (2018).
- 13) 山田俊幸、清水武史、土田成紀、濾胞性ヘルパーT細胞分化への胸腺でのレチノイン酸による Gata3 誘導と脾臓での Fog1 誘導関与、第 40 回日本分子生物学会年会、第 90 回日本生化学会大会、合同年会、神戸、12 月 (2017).
- 14) 山田俊幸、七島直樹、清水武史、土田成紀、ラット脾臓でのヘルパーT細胞分化における転写共役因子 Fog1 の重要性、第 89 回日本生化学会大会、仙台、9 月 (2016).

3. その他特筆すべき研究業績

[研究費の受け入れ]

- 1) 山田俊幸（分担），科学研究費補助金，基盤研究 C 一般，非視覚組織の皮膚への光線曝露が調節する神経ペプチドの活性化機構の解明，（研究代表者）山本博之，150 千円，（2020～2022）.
- 2) 山田俊幸（分担），生物の内在性機能を利用した創薬・研究試薬開発，（研究代表者）株式会社 Epigeneron，代表取締役、藤井穂高，総額 200 千円，(2018).
- 3) 山田俊幸（代表），科学研究費補助金，基盤研究 C 一般，新規動物モデルを用いたヘルパーT 細胞分化に対する胸腺内ビタミン A の作用機序の解明，総額 4,940 千円，(2015～2017).

Ⅱ．教育業績

1．担当授業科目

[2020 年度]

- （講義）生命情報を担う遺伝子（薬学部薬学科 2 年生）
- （講義）バイオ医薬品とゲノム情報（薬学部薬学科 3 年生）
- （講義）生物特論（薬学部薬学科 6 年生）（2 コマ）
- （実習）遺伝子・免疫実習（薬学部薬学科 3 年生）
- （実習）卒業研究（薬学部薬学科 6 年生）
- （実習）卒業研究（薬学部薬学科 5 年生）
- （演習）薬学原書講読 II（薬学部薬学科 4 年生）
- （演習）薬学総合演習 I（薬学部薬学科 4 年生）（1 コマ）
- （演習）薬学総合演習 II（薬学部薬学科 6 年生）（1 コマ）
- （演習）地域と大学（薬学部薬学科 4 年生）（1 コマ）
- （その他）信頼関係の構築（薬学部薬学科 2 年生）（2 コマ）

[2019 年度]

- （講義）生命情報を担う遺伝子（薬学部薬学科 2 年生）
- （講義）バイオ医薬品とゲノム情報（薬学部薬学科 3 年生）
- （実習）遺伝子・免疫実習（薬学部薬学科 3 年生）
- （実習）卒業研究（薬学部薬学科 6 年生）
- （実習）卒業研究（薬学部薬学科 5 年生）
- （演習）薬学原書講読 II（薬学部薬学科 4 年生）
- （演習）薬学総合演習 I（薬学部薬学科 4 年生）（1 コマ）
- （演習）薬学総合演習 II（薬学部薬学科 6 年生）（3 コマ）
- （演習）地域と大学（薬学部薬学科 4 年生）（1 コマ）

[2018 年度]

- （講義）生命情報を担う遺伝子（薬学部薬学科 2 年生）
- （講義）バイオ医薬品とゲノム情報（薬学部薬学科 3 年生）
- （実習）遺伝子・免疫実習（薬学部薬学科 3 年生）
- （実習）卒業研究（薬学部薬学科 6 年生）

- (実習) 卒業研究 (薬学部薬学科 5 年生)
- (演習) 薬学特論 IIIA (薬学部薬学科 3 年生)
- (演習) 薬学原書講読 II (薬学部薬学科 4 年生)
- (演習) 薬学総合演習 I (薬学部薬学科 4 年生) (2 コマ)
- (演習) 薬学総合演習 II (薬学部薬学科 6 年生) (3 コマ)

[2017 年度]

- (講義) バイオ医薬品とゲノム情報 (薬学部薬学科 3 年生)
- (実習) 遺伝子・免疫実習 (薬学部薬学科 3 年生)
- (実習) 卒業研究 (薬学部薬学科 5 年生)
- (演習) 薬学総合演習 I (薬学部薬学科 4 年生) (1 コマ)

[2016 年度]

(弘前大学での担当授業)

- (講義) 生化学 (医学部医学科 2 年生) (9 コマ)
- (講義) 特別研究セミナー (医学研究科大学院生) (1 コマ)
- (講義) 医学研究概論 (医学研究科大学院生) (1 コマ)
- (少人数ゼミ, 通年) 基礎人体科学演習 (医学部医学科 1 年生) (60 コマ)
- (少人数ゼミ, 半期) 基礎ゼミナール (医学部医学科 1 年生) (15 コマ)
- (実習) 生化学実習 (医学部医学科 2 年生) (24 コマ)

2. その他特筆すべき教育業績

[薬物乱用防止講演]

- 1) 山田俊幸, 「No Drug, know Drug」、東京都立農芸高等学校, 12 月 (2020).
- 2) 山田俊幸, 「No Drug, know Drug」、東京都立小平高等学校, 7 月 (2018).

[あげポタ執筆]

- 2) 山田俊幸, 「悪い奴ほどよく眠る」というお話、あげポタ (2018 年 6 月 14 日付).